

今年はひととき美しい、新潟の水辺の桜名所をご案内します。

キャレール

CARREL

4

2024 Vol.360
定価 700円

新潟をもっと楽しみたい大人たちに

| 巻頭特集 |

水のほとりを彩る桜を愛でる

桜と水辺のものがたり

通過するだけではもったいない

目的地は駅

| インタビュー |

CARREL FOCUS

白山弘子さん

東日本旅客鉄道株式会社 新潟支社長

新しい
キャレール
始まります

水のほとりを彩る桜を愛する

桜と水辺の ものがたり

待ちに待った春の到来。
山々からの清らかな水で、
豊かな雪解け水に満たされて
陽光にきらめく、新潟の水辺。
そのほとりに咲き誇る桜は
ひととき美しく感じられます。
新潟の多種多様な水辺にある桜名所。
多くの人々によって愛され、
大切に育まれてきた
歴史や由来に思いをはせながら、
桜の風景を楽しんでみませんか。

※天候や気温等により開花や見頃の時期が異なる場合があります。
※掲載した桜の写真は昨年以前に撮影されたものです。掲載写真と周辺環境や樹形が変わっている場合がありますのでご了承ください。

通過するだけでは
もったいない

目的地は駅



今年には新潟の鉄道のアニバーサリーイヤー。

新潟駅の開業120周年に、

約60年ぶりとなる新潟駅改修工事に伴う

駅ビル「CoCoLo新潟」のリニューアルオープン。

新津―会津若松を走る「SLばんえつ物語」は運行25周年、

のつてたのしい列車「越乃Shu*Kura」は運行10周年を迎えるなど

楽しい話題がめじろ押しなのだ。

街の歴史や人々と共にあり続けてきた「駅」。

まずは注目の「CoCoLo新潟」をご紹介します。

新潟駅を起点とした新潟駅周辺を含む

「にいがた2km」も基礎からおさらいする。

県内の気になる駅を訪ね、

その周辺を巡る小旅行にも出かけよう。

1958



1958(昭和33)年の新潟駅
(現在の万代口側)
写真提供:新潟市新津鉄道資料館



2024

新潟駅の新しい顔に

CoCoLo新潟

オープン間近。さあ、どんなドキドキ、ワクワクに出合えるだろう？
テナント誘致を担当したJR東日本新潟シテイクリエイト株式会社の
五十嵐美都さんに話を伺った。



新潟駅に
遊びに来て
ください！

CoCoLo新潟の 始まりは？

4月25日にグランドオープンを迎えるCoCoLo新潟。3月27日には「2F EAST SIDE」が先行してオープンとなり、心待ちにしている人も多いのでは？

これまでの歩みを振り返ると、CoCoLo新潟が誕生したのは2004年10月。二つの駅ビル「パティオ」「セゾン」が合併し、「CoCoLo新潟」として新たな一歩を踏み出したのだ。覚えやすく親しみやすい「CoCoLo」という名前は、「人や魅力、地域をつないで彩る」という思いから、Communication(コミュニケーション)になぞらえ

気持ち上がる ひとときを

る(Color(彩る)・Local(地域)の2文字ずつを組み合わせたという。

20年の時を経て生まれ変わるCoCoLo新潟には、約170店舗が入る。そのうち新規出店は約140店舗。テナント誘致への思いを、JR東日本新潟シテイクリエイト株式会社の五十嵐美都さんに聞いた。「これまでのCoCoLo新潟は、お土産店や飲食店が比較的多かったと思います。今回のリニューアルでは、新潟に暮らす皆さまに日常的にご利用いただき、日々の生活が豊かに

駅が「目的地」と
なってほしい



お話を聞いたのは

JR東日本新潟シテイクリエイト株式会社
マーケット開発部 課長
いからしみと
五十嵐美都さん

山形県鶴岡市出身。大学進学を機に新潟へ。街づくりへの興味から同社を志望し、CoCoLo長岡のフロア改装や鶴岡駅の店舗改装にも携わる。

広々とした開放的な空間に！



新しいCoCoLo新潟(画像はイメージです)
写真提供:JR東日本新潟シテイクリエイト株式会社

アパレルや雑貨から 新鮮な旬の食材まで

県内初出店となる店舗も多い。話題となつている「成城石井」(次ページで紹介)をはじめ、アパレルから生活雑貨、こだわりの食物販まで幅広く取り扱う「サロン・アダムエロペ」、台湾発祥の人気カフェ「ゴンチャ」などがある。

注目ほ他にも、かつて古町五番町にあった「明治屋ストア」(次ページで紹介)が新潟に帰ってくるのだ。「同じく、復活、でいうと、万代口で親しまれていた生鮮スーパー「けんこ

う市場」が戻ってきます」と五十嵐さん。青果と鮮魚は、以前のけんこ市場と同じ業者がよりパワーアップして登場。精肉は阿賀野市の佐藤食肉が入り、精肉から総菜まで取りそろえるという。ちなみに「明治屋ストア」や「けんこ市場」の場所は、1階バス乗り場のすぐ前。二つフロアを上げれば在来線改札口も近い。「バスや電車を下りた先に買い物する店がない」という人にはとても便利だ。

新しいCoCoLo新潟は、通勤や外出のための通過点ではなく、日々の買い物をしたり、新しいものに出合ったりできる滞在型の駅ビルに生まれ変わる。活気ある新潟のため、そして新潟に暮らす人々の豊かな生活を考え作り上げた新拠点。存分に楽しみたい。



生鮮食品売り場(画像はイメージです)
写真提供:JR東日本新潟シテイクリエイト株式会社

佐藤智香子の はじめましての郷土料理

その地域の風土や風習の魅力を表す郷土料理。親から子へ当たり前のように継承されていた頃に比べ、さまざまな環境が変化している今は、次世代に伝える機会や、いただく機会も少なくなっています。「作るタイミングがなくて」「手間がかかって」と遠ざかっている人も。でも、「郷土料理はこうあるべき」の枠組みから視点を変えようと、ふるさとの味をもっと身近に感じられると思うのです。

この新連載では、料理家の佐藤智香子さんから、新しい解釈で気軽に作れる郷土料理のレシピを教えてください。肥沃な大地で育まれた旬な果物を使ったおやつも毎月ご紹介。そのほか、金物の産地・燕三条地域で作られる調理道具もご紹介します。いろんな視点から新潟のよさを、いざ発見です。



佐藤 智香子

(株)ワイオリキッチン代表
料理家。野菜ソムリエプロ。フリーアナウンサー

[PROFILE]

新潟市出身。アナウンサー時代に料理に魅せられ、フランスの料理学校「ル・コルドン・ブルー」に学ぶ。2000年頃から料理家としての活動を開始。著書「365日おにぎりレシピ」英訳版「ONIGIRI」は世界料理本大賞2020ライス部門一位を受賞。